



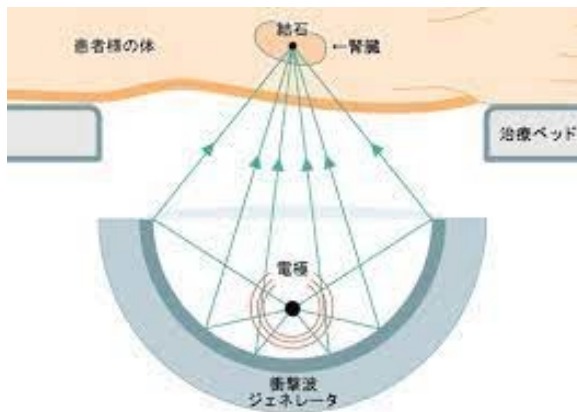
体外衝撃波尿路結石破碎術 (ESWL)

病名(診断名) : みぎ ひだり 腎・尿管結石

予定する手術名 : みぎ ひだり ESWL (体外衝撃波結石破碎術)

みぎ ひだり 尿管ステント留置

手術日 : 年 月 日

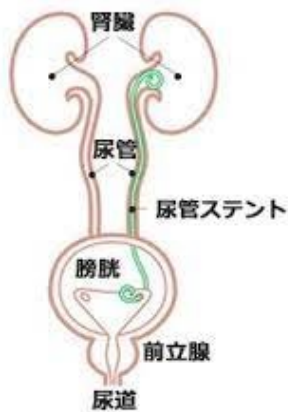


概要・目的 : 尿路結石の破碎と尿路通過障害の解除

体外衝撃波とは装置から発生させた衝撃波を体内の結石に収束させ、結石を砕いて尿と一緒に排出させることを目的としています。手術による結石破碎とは異なり、この治療では麻酔は不要であり、入院期間も短く、すぐに日常生活も可能となります。

多くの結石は ESWL のみで身体にあまり負担をかけずに治療が可能ですが、以下に具体的な方法・起こりうる合併症などについて説明します。

尿管ステントの役割



- ✓ 閉塞や手術後の尿管のむくみを改善し、尿管の負担を減らします
- ✓ 尿管の拡張をサポートします
- ✓ 結石片の体外排出を容易にします
- ✓ おしっこの通りをよくします
- ✓ 排石時の痛みを軽減させます

方法 :

入院した当日に治療を行います。入院前にまず、お臍にマーカーを付けて腹部のレントゲン写真を撮っていただき結石の位置を確認します。当日の写真で結石が下降・自排石していた場合、また発熱していた場合には治療を中止することもあります。結石による痛みが強い、尿路感染が併存する、結石が詰まった部位が狭くなっている、結石が大きな場合は尿管ステントを先に留置してから行う場合があります（最近では、このような場合、内視鏡を用いた破碎術を行う方が治療成績が良いといわれています。）

治療時の痛みを緩和するために、予防的に坐薬の痛み止めを使用します。治療中には注射薬の鎮痛剤を使うこと

もあります。手術室では治療用のベッドに寝ていただき、背中(またはお腹)に衝撃波を発生させる水枕のようなものを接触させます。X線 で位置を調整してから、衝撃波を 3000 発程度まで行います。

1 回の治療は約 30 分～1 時間程度で終了します。翌日に大きな問題がなければ退院となります。

退院後は日常生活上、特に制限はありません。

水分を多めにとり(1 日 1500ml 以上)、結石の排出を促すようにして下さい。

退院後、結石が排出された場合は保管しておき次回の外来の際に持参して下さい。

結石の大きさ・硬さ・位置などによっては 1 度の治療では破碎できないこともあり、再度の治療が必要となる場合もあります。また、結石が硬く碎石できない、碎石しても排石されない場合には内視鏡を用いた手術が必要となることもあります。

合併症(副作用・偶発症)について：

- ✓ 血尿・疼痛
通常は数日程度で軽くなります。増強する場合は早めに診察を受けてください。
- ✓ 尿路通過障害、急性腎盂腎炎
破碎した結石の破片が尿管内で詰まり、痛みや発熱を来すことがあります。多くの場合は水分を多くとり排石を促すことで自然に軽快しますが、結石内に含まれていた細菌で腎盂腎炎を併発することがあります。このために尿管ステントの留置や腎瘻造設などの尿路の確保が必要となる場合があります。
- ✓ 皮下血腫
衝撃波の当たる皮膚の部分が赤くなることがありますが、自然に消失します。
- ✓ 腎被膜下血腫
腎臓の結石を破碎する場合、ごく稀に腎臓内に血腫ができることがあります。発熱や腹部・腰部の激痛を伴います。ほとんどは安静や点滴で治りますが、時として輸血や血管カテーテルによる塞栓術が必要となる場合があります。
- ✓ 全身の重篤なもの
持病の悪化や脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、肺梗塞などの臓器障害や予期せぬ合併症

他の治療選択肢・代替医療について：

現在、本治療と同等以上の治療成績が得られ、確立した他の治療法としては、

経尿道的結石碎石術（TUL）、経皮的腎・尿管碎石術（PNL）、尿管切石術・腎摘除術（腹腔鏡、開腹）等が挙げられます。それぞれの治療方法にはそれぞれにメリット、デメリットがあり、患者様の症状、既往歴や全身の状態、そしてご希望などをもとに、主治医が選択肢を検討して提示いたします。

実施しない場合の予後として痛みや感染の持続、腎機能廃絶の危険などが考えられます。

セカンドオピニオン・ご本人の自己決定権について：

ご本人の年齢や全身状態や合併疾患、病変の大きさや広がり等を考慮して治療法を提示しています。ご希望に沿った治療法を選択して下さい。ご不明な点はご理解を深めて頂けるようにご質問下さい。最終的な検査・治療方針の決定は患者さんご本人によってなされ、そのためにセカンドオピニオンを得る機会があります。また、予定される検

査・治療に同意しない場合でも一切不利益をうけることはありません。また治療を開始した後でも、考えが変わった場合にはいつでも同意を取り下げることができます。この場合も、今後の治療や看護などの診療内容に不利益になることはありません。

以上の説明に関しご不明な点は、医師、看護師にお尋ねください。

説明日 @SYSDATE

同愛記念病院 @PATIENTFORMALSECTIONNAME

説明医師： @ACTIVEUSERNAME 印またはサイン 同席者： _____

私は、体外衝撃波尿路結石破碎術の目的、方法および危険性について、上記の内容を読み、また医師の説明により十分に理解しましたので、上記の検査・治療を受けることに同意します。

なお、緊急の処置・治療を行う必要が生じた場合には、適宜施行されることについて同意します。

同愛記念病院 院長 殿

年 月 日

本人氏名 _____ 印 ※署名がある場合は押印不要

家族等氏名 _____ 印（本人との続柄 _____）

※本人の署名がある場合は家族等の署名は不要、※本人が署名不能な場合や未成年者の場合には家族等の署名が必要